

《令和2年度 教育委員会事務局 組織目標の達成状況》

重 令和2年度予算重点施策に関連する項目には、「4. 課題解決に向けた令和2年度の具体的な取組」欄に、左の記号を記載しています。

◆目標管理者

部長	居川 哲雄
理事	畑 真子

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取組と成果目標	4. 課題解決に向けた令和2年度の具体的な取組 【年度末実績】
<p>1 <いじめを根絶する取組の推進> 大きな社会問題となっているいじめ問題については、そのいじめの根絶に向け、学校の組織力を高め、家庭、地域、関係機関との連携を強化し、子どもの自己肯定感を高め、豊かな感性や人間性を育む取組を進めていく必要があります。</p>	<p>① いじめに対する職員の危機意識の向上や未然防止の取組、早期発見、早期の組織対応等を総合的かつ効果的に推進するとともに、家庭や地域、関係機関との密接な連携のもと、いじめの根絶に向けた取組を進めます。</p>	<p>【取組】 ・道徳教育、いじめの予防学習の充実等により、いじめを許さない集団作りに努めるとともに、教員研修の実施などにより、教員の対応力を強化します。 ・いじめの認知件数が増える6月と9月に「いじめ防止強化月間」を設定し、各学校での取組を強めるとともに家庭や地域、関係機関との連携を図ります。</p> <p>【成果目標】 いじめの認知件数に対する解決率 100% (令和元年度 100%の見込み)</p>	<p>① 【取組実績】 ・道徳教育、いじめを予防する学習の充実等により、いじめを許さない集団作りに努めるとともに、教員研修の実施などにより、教員の対応力を強化しました。 ・いじめの認知件数が増える6月と9月に「いじめ防止強化月間」とし、各学校での取組を強めるとともに家庭や地域、関係機関との連携を図りました。 ・いじめの未然防止・早期発見のために、いじめアンケートを行いました。</p> <p>【成果目標実績】 ・いじめの認知件数に対する解決率 100%見込み(令和元年度100%) 令和元年度：小学校228件、中学校128件 令和2年度：小学校439件、中学校196件</p>
<p>2 <健やかな体づくりの推進> ・令和元年度の児童の新体力テストの結果は、上昇傾向にあります。児童生徒がより一層運動に関心をもち、目標である全国平均点を上回るためには、今後も継続して体力向上に取り組む必要があります。 ・また、中学校の生徒の体力テストの結果は、全国平均点を上回っていますが、部活動などスポーツを行う機会が増え、けがが増加するため、スポーツ傷害予防に取り組む必要があります。</p>	<p>② ・立命館大学との協働研究を行いながら、児童生徒が運動する機会や環境の充実のための効果的な取組を行うとともに、短時間運動プログラム(草津市チャレンジタイム)の推進や体育教科の授業改善、スポーツ傷害予防講座等の実施により児童生徒の体力向上に取り組めます。 ・今年度で小中学校体力向上プロジェクト第2期計画(平成30年度～令和2年度)が終了となることから、引き続き体力向上に取り組むとともに、「運動が好き、体育の授業が楽しい」につながる授業改善に向けて、第3期の計画策定に取り組めます。</p>	<p>【取組】 大学と連携しながら、小中学校で、体力向上プロジェクトに取り組み、「運動が好き、体育の授業が楽しい」につながる授業改善を進めるとともに、効果の高い短時間運動プログラムの実施を通じて、子どもたちの体力向上に取り組めます。また、継続課題となっている持久力の向上や、更なる授業改善に向けて、第3期の計画策定に取り組めます。</p> <p>(事業費) ・小学校体力向上プロジェクト推進費 830千円 ・中学校体力向上プロジェクト推進費 470千円</p> <p>【成果目標】 小中学校体力向上プロジェクト第3期計画の策定</p>	<p>② 【取組実績】 新型コロナウイルス感染症拡大の中、小学校では楽しみながら運動ができるダンス教室や体育授業での予備的運動としてのチャレンジタイムの動画を作成し、家庭学習に活用し、定着させる取組を行いました。中学校ではスポーツ傷害を予防するためのスポーツ傷害予防講習会を実施しました。また、立命館大学スポーツ健康科学部や学校関係者と連携し、子どもたちの体力向上について継続的に取り組めました。</p> <p>(事業費) 小学校体力向上プロジェクト推進費 679千円 中学校体力向上プロジェクト推進費 256千円</p> <p>【成果目標実績】 小中学校体力向上プロジェクト第3期計画の策定</p>
<p>3 <健やかな体づくりの推進> 全国的に中学校給食の実施が進んでいることや、本市における中学校給食を望む保護者の声、市議会での請願の採択などといった社会情勢の変化等を踏まえ、さらなる教育環境の向上と食育の推進を図ることを目的として、平成29年2月に策定した中学校給食実施基本計画に基づき、センター方式による中学校給食を実施する必要があります。</p>	<p>③ 令和3年度3学期から中学校給食を実施するための取組を推進します。</p>	<p>【取組】 ・給食センター用地の造成工事や給食センター建設工事などを実施し、施設整備を進めます。 ・中学校配膳室の整備を行います。 ・中学校給食の運営に関して、中学校教職員や保護者代表等の関係者による意見交換、情報共有を行います。</p> <p>(事業費) 中学校給食センター整備費 2,408,743千円</p> <p>【成果目標】 ・用地造成工事の完了、センター建設工事の着工 ・中学校配膳室増築工事の実施 ・中学校給食推進懇話会の開催</p>	<p>重 ③ 【取組実績】 給食センター用地の造成工事を完了し、給食センター建設工事に着手しました。 老上中・玉川中の配膳室増築工事を完了しました。また、草津中・新堂中の配膳室増築工事に着手しました。 中学校給食の運営に関する意見交換および情報共有の場として、草津市中学校給食推進懇話会を開催しました。</p> <p>(主な事業費) 給食センター造成工事費(竣工払)・監理費 44,423千円 給食センター駐車場他整備工事費・監理費 93,971千円 給食センター新築工事(前払) 1,029,870千円 配膳室増築工事費・監理費(老上中・玉川中) 216,041千円 配膳室増築工事費(草津中・新堂中)(前払) 140,940千円</p> <p>【成果目標実績】 ・用地造成工事を完了し、センター建設工事に着手しました。 ・中学校配膳室増築工事を実施しました。(老上中・玉川中・草津中・新堂中) ・草津市中学校給食推進懇話会を開催(5回)しました。</p>
<p>4 <ICTを活用した教育の推進> Society5.0時代を生きる子どもたちにとって、教育におけるICTを基盤として先端技術等の効果的な活用が求められています。そのためには、「1人1台端末」を整備し(GIGAスクール構想)、新学習指導要領にある主体的・対話的で深い学びの実現が求められています。さらに、災害や感染症の発生等による学校の臨時休業等の緊急時においてもICTの活用により全ての子どもたちに学びを保障できる環境を早急に実現することが急務です。(GIGA構想の加速による学びの保障)</p>	<p>④ 「1人1台端末」を早期に実現し、草津型アクティブ・ラーニングをさらに推進し学力の向上を図ります。</p>	<p>【取組】 ・草津市教育情報化推進計画(第2期)を策定し、本市学校教育における「教育の情報化」の基本的な考え方と方向性を明確にします。 ・「1人1台端末」の活用について研修・研究を進め、質の高い授業実践に取り組むことで、児童の学びに向かう力を高めます。</p> <p>【成果目標】 児童生徒アンケート「電子黒板やタブレットを使った授業はわかりやすい」肯定的回答 90%以上</p>	<p>重 ④ 【取組実績】 ・国の「学校教育情報化推進計画」が未策定であり、指針とすべき方向性や目標が不透明であることから、今年度予定していた草津市教育情報化推進計画の策定を見合わせ、令和3年度まで延長することとしました。 ・市立小中学校に配備された学習者用端末の授業における効果的な活用について、各校の教育情報化リーダーを対象とした養成研修会を実施しました。</p> <p>【成果目標実績】 児童生徒アンケート「電子黒板やタブレットを使った授業はわかりやすい」肯定的回答 92.3%</p>

1. 現状認識
(重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)

5 <基礎学力向上のための取組の充実>
新学習指導要領が示す主体的・対話的で深い学びを実現するため草津型アクティブ・ラーニングによる授業改善を推進するとともに、子ども一人ひとりの学習上のつまずきを把握し、個別に支援をしていく必要があります。

<学びの基礎となる読みの力の定着>
市内小学校において、1年生の段階で、学習の基本となるひらがなの読み書きにつまずいている児童が一定数います。1年生時のつまずきは、高学年段階での学習困難の大きな要因となっていることから、低学年の早い段階から効果的な指導・支援を行う必要があります。

2. 重点目標

5 ⑤ ・新学習指導要領が示す主体的・対話的で深い学びによる学力の向上を目指して、学び方を身に付けるための支援をします。
・中学校入学以来の生徒一人ひとりの学習上のつまずきを把握し、克服する支援を行うことにより、生徒の学力向上を目指します。
・年間を通して定期的なアセスメントを行い、学習につまずく児童を早期発見するとともに、科学的根拠のあるアセスメント結果に基づき、効果的な指導・支援を行います。
・1年生の国語科の授業において、科学的根拠のある「読み」の指導を継続的にを行い、学力の基盤となる読みの力の向上を図ります。

3. 目標達成のための取組と成果目標

⑤ 【取組】
・本市の学力向上策の一環として、中学2年生を対象とした共通テストの実施と、テスト後の補充プリントによる学習支援を行います。
・個別教育相談で、担任がテスト結果個票をもとに、事後の学習相談を行います。
・生徒が主体的に学びに向かう学習方法を身に付けさせるとともに、教員は、授業改善の定着度合を図り、担任と教科担当の両面から個別の支援を行います。
・1年生学級の国語科の授業において、児童の読みの力を分析・把握し、タブレットPCを活用し、一人一人の課題に応じ、多層指導モデル(MIM)による「読み」の指導を年間を通して行います。
(事業費)
・子どものつまずき発見・克服事業 委託料 2,054千円
・小1学びの基礎育成事業 966千円

【成果目標】
・補充プリントの提出率 95%以上 (令和元年度94.0%)
・1年生の指導終了時に読みにつまずく児童の割合 8%以下

4. 課題解決に向けた令和2年度の具体的な取組
【年度末実績】

重 【取組実績】
(子どものつまずき発見・克服事業)
・中学2年生を対象に共通テストと事前事後補充プリントを作成し実施しました。結果の個票をもとに個別教育相談をし、つまずきを克服するための学習支援を行いました。
・生徒の参加率 98.0%
・アンケート結果「自分が困っているところを発見することができた」と感じている生徒の割合 78.7%
・モデル校8校で1年生の国語科の授業において、児童の読みの力を分析・把握し、タブレットPCを活用し、一人ひとりの課題に応じ、多層指導モデル(MIM)による「読み」の指導を年間を通して行いました。
(事業費)
・子どものつまずき発見・克服事業 委託料 2,030千円

⑤ 【成果目標実績】
・補充プリントの提出率 国語 90.3%、数学 89.2%
・つまずく児童の割合(8校) 1学期54.2%、2学期28.3%、3学期15.4%
(令和元年度4校 1学期52.9%、2学期34.4%、3学期実施なし)

6 <基礎学力向上のための取組の充実>
<英語教育の推進>
・令和2年度から(中学校は令和3年度から)から適用になる新学習指導要領に基づき、全面実施となる英語教育は、3月に策定した「草津市英語教育ステップアッププラン」に即して、市内の全ての小中学校で計画的に授業内容の充実を図ります。
・本年度は草津市が目指す英語教育「急速にグローバル化する社会において、自らの考えや意見、情報を積極的に発信し、他者と主体性を持って英語でコミュニケーションができる力を育成する」とし、小中学校の円滑な接続を図る中で、草津型アクティブ・ラーニングの授業をベースにし、子どもの言語活動の充実を目指した英語教育を推進していく必要があります。

6 ⑥ ・教員の英語力、指導力の向上や、英語を用いたコミュニケーション活動の充実を図るとともに、「草津型CAN-DOプラン(草津市小中一貫英語カリキュラム)」の作成・実践・検証に取り組み、新学習指導要領に基づく、新しい英語教育を進めます。
・草津市の強みであるICT機器の活用を推進し、先駆的な授業を小中学校で実践します。

⑥ 【取組】
・全中学校区で小中の連携を重視し、中学校区での授業研究会を行い、小中の円滑な接続と連携を図れるようにします。
・小学校5年生から中学校3年生までの系統性を考慮した「草津版CAN-DOリスト」を評価基準とし、具体的な授業モデルとして「草津型CAN-DOプラン(草津市小中一貫英語カリキュラム)」を作成し、実践・検証に取り組んでいきます。
・3名のALTによる市立全小中学校への巡回や遠隔授業による学校間の英語交流等の実施を通して、子どもの英語力の向上に向けて、様々な授業実践に取り組んでいきます。
・ICT機器を活用した授業の一環として、リアルタイムで外国人とコミュニケーション活動に取り組む英語教育オンライン授業を全小学校で実施します。
・中学1年生～3年生を対象に、スコア型英語技能検定を実施し、成果の把握と英語科の授業改善につなげます。
(事業費)
・JTE配置費 11,628千円
・ALT配置費 14,553千円
・英語教育オンライン授業委託費等 2,551千円
・英語検定料補助金 7,975千円

【成果目標】
・中学校卒業時に、CEFRレベルA1の生徒60%以上 (令和元年度55.4%)
・英語(外国語活動)が好きと回答した児童生徒の割合 80%(令和元年度76.5%)

⑥ 【取組実績】
・各中学校区で公開授業・授業研究会を行い、小中学校の接続と連携を図り、児童生徒の実態を交流するとともに、実践の成果と課題を確認しました。
・小学校(2校実施)、中学校(3校実施)で「草津市版CAN-DOプラン(草津市小中一貫英語カリキュラム)」を草津市英語教育代表推進委員が作成し、実践・検証を行いました。
・3名のALTによる全小中学校への巡回を行い、英語でコミュニケーションを図る場を設定し、草津市版イマージョン教育等の新しい英語教育の取組を進めました。
・全14小学校の6年生を対象に、英語教育オンライン授業を「1クラス2回線」で年間5回ずつ実施し、外国人講師とのコミュニケーション活動を充実させました。また、その内1校についてはパイロット校として、「児童3人と講師1人」「児童1人と講師1人」のオンライン授業を実施し、英語での即興的なやり取りの機会を充実させました。
・全6中学校の1～3年生を対象に、スコア型英語技能検定を実施し、成果を把握するとともに、授業改善についての具体的な取組に繋がりました。
(事業費)
・JTE配備費 10,813千円
・ALT配置費 14,454千円
・英語教育オンライン授業委託費 2,339千円
・英語検定料 6,269千円

【成果目標実績】
・中学校卒業時に、CEFRレベルA1の生徒 56.0%
・「英語の授業は好き」と回答した児童生徒の割合 76.8%

7 <配慮を要する子どもへの支援体制の充実>
近年、著しく増加している不登校をはじめとする学校不適応行動について、早期に対応し問題解決をする必要があります。
また、臨時休校措置に伴い、子どもたちが生活リズムを崩し、さらに不登校児童生徒が増大することが懸念されます。
不登校の要因は、学校、家庭、地域社会など子どもを取り巻く環境が影響していることが少なくありません。子どもたちの課題の解消を図るためには、本人への働きかけとともに、取り巻く環境の調整・改善に取り組む必要があります。

7 ⑦ 学校不適応行動や不登校については、社会福祉の専門的知識・技術を有する人材を学校に派遣し、児童生徒をとりまく様々な環境に働きかけて支援を行い、個々の課題の解決を図ります。

⑦ 【取組】
学校不適応や不登校の児童生徒の課題解決を図るために、社会福祉の分野における専門的知識・技術を有するスクールソーシャルワーカー(SSW)を派遣します。
具体的には、SSWと学校教員とが連携し、児童生徒をはじめ、その保護者に対して指導・助言を行ったり、SSWによるアセスメントやプランニングに対する指導や助言、教職員研修の実施による教職員のスキルアップ向上を図ったりすることで、早期発見、早期対応、問題解決に取り組めます。
(事業費)
・特定任期付き職員スクールソーシャルワーカー 8,122千円
・スクールソーシャルワーカー配置費 1,638千円

【成果目標】
不登校児童生徒の人数 小学校10%減 中学校5%減(前年比)

⑦ 【取組実績】
・学校不適応や不登校の児童生徒の課題解決を図るために、教育研究所に社会福祉の分野における専門的知識・技術を有するSSWを常駐し、教育研究所の機能強化を図り、学校と教育研究所との連携を深めた。

【成果目標実績】
・不登校児童生徒の人数 ※月7日以上欠席者数の延べ人数
小学校4.2%増、中学校18.8%増
令和元年度 小学校573人/年(47.8人/月)
中学校805人/年(67.1人/月)
令和2年度 小学校597人/年(49.8人/月)
中学校956人/年(79.7人/月)

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取組と成果目標	4. 課題解決に向けた令和2年度の具体的な取組 【年度末実績】
<p>8 <学校等の施設・設備の整備> ・小中学校施設は建築後相当の年数が経過しており老朽化が著しい状態です。また、グラウンド等の屋外施設や受電設備等の付帯設備についても、未改修の学校が多く、老朽対策工事を進める必要があります。 ・学校施設の構造体に係る耐震化は完了していますが、構造体以外の天井や窓、備品等(非構造部材)の耐震化が完了しておらず、これらの耐震対策を進める必要があります。</p>	<p>8 ⑧ ・学校施設の安全性の確保と教育環境の改善を図るため、老朽化が進む小中学校施設等の改修とバリアフリー対応の工事・設計を行います。 ・地震に対する学校施設の安全性を確保するため、小中学校校舎の非構造部材について耐震工事をを行います。</p>	<p>⑧ 【取組】 建築後相当年数経過した校舎等の学校施設の改修を計画的に実施するとともに、バリアフリー対応の工事・設計を行います。 <令和2年度> (事業費)10,624千円 (事業費)15,901千円 ・老上小学校グラウンド改修工事実施設計業務(6,721千円) ・志津小学校体育館トイレ改修工事修正設計業務(520千円) ・老上中学校トイレ改修工事実施設計業務(4,070千円) ・松原中学校体育館大規模改修工事実施設計業務(4,590千円) <令和元年度予算明許繰越> (事業費)168,380千円 ・草津第二小学校トイレ改修工事(40,451千円) ・草津第二小学校トイレ改修工事監理業務(3,031千円) ・新堂中学校武道館大規模改造他工事(39,354千円) ・新堂中学校武道館大規模改造他工事監理業務(3,682千円) ・老上中学校グラウンド改修工事(79,013千円) ・老上中学校グラウンド改修工事監理業務(2,849千円) 【成果目標】 各工事、実施設計の完了</p>	<p>⑧ 【取組実績】 建築後相当年数経過した校舎等の学校施設の改修を計画的に実施するとともに、バリアフリー対応の工事・設計を行いました。 <令和2年度> (事業費)10,624千円 ・老上小学校グラウンド改修工事実施設計業務(3,496千円) ・志津小学校体育館トイレ改修工事修正設計業務(330千円) ・老上中学校トイレ改修工事実施設計業務(2,728千円) ・松原中学校体育館大規模改修工事実施設計業務(4,070千円) <令和元年度予算明許繰越> (事業費)146,346千円 ⑧ ・草津第二小学校トイレ改修工事(35,549千円) ・草津第二小学校トイレ改修工事監理業務(1,100千円) ・新堂中学校武道館大規模改造他工事(35,679千円) 竣工払 令和元年度 前払23,780千円 ・新堂中学校武道館大規模改造他工事監理業務(3,135千円) ・老上中学校グラウンド改修工事(70,883千円) ・老上中学校グラウンド改修工事監理業務(0千円) 入札不調 【成果目標実績】 国の交付金の採択時期等の関係から、夏休みに実施可能な工事を実施しました。</p>
<p>9 <地域協働校の推進> 人生100年時代を見据え、誰もが生涯にわたって、学ぶことのできる生涯学習機会の充実が求められており、大人も子どもも、楽しく生きがいを感じながら学びあい、地域社会で活躍できる環境づくりを進める必要があります。</p>	<p>9 ⑨ 地域の中で、子どもと大人が学び合い、人が輝き、互いに高まり合える地域学習社会づくりを目指します。</p>	<p>⑩ 【取組】 地域協働校の推進により、学校・家庭・地域が協働し、郷土愛や専門的な学びを深める活動を通して、大人と子どもが学びあい、地域における子どもの育成と、地域活動の活性化を図ります。 【成果目標】 地域協働校の推進に満足している市民の割合 21.5% (令和元年度21.8%)</p>	<p>⑩ 【取組実績】 市内各小中学校地域協働校推進組織への委託により、本事業を勧めました。コロナ禍において、事業が縮小傾向の中でも、創意工夫により様々な事業が展開されました。また、令和元年度に引き続き、市内1校の地域協働校の取組が、文部科学大臣表彰を受賞しました。 ・事業数 小学校 254 中学校 33 ・参加人数 小学校 125,510人(子ども 104,677人 大人 20,833人) 中学校 38,698人(子ども 37,203人 大人 1,495人) 【成果目標実績】 地域協働校の推進に満足している市民の割合 21.5%</p>
<p>10 <市民の生涯スポーツ活動の支援> “ALLくさつ”でつくる「みんながスポーツ大好きなまちくさつ」を基本理念とした草津市スポーツ推進計画(平成23年度～平成32年度)の計画期間が満了することから、計画策定以降の状況変化や取組内容の評価等を踏まえ、第2期草津市スポーツ推進計画を策定し、さらに取組を進めていく必要があります。</p>	<p>10 ⑩ 現計画策定以降の状況変化を踏まえながら、市民アンケートや関係団体からのヒアリング、これまでの取組内容の評価等を行いながら、第2期草津市スポーツ推進計画を策定します。 また、誰もが気軽に参加し楽しめる、民間事業者主体のランニングイベント「健幸都市くさつランフェスティバル」への支援を通じ、官民連携による生涯スポーツの推進に取組みます。</p>	<p>⑪ 【取組】 第2期草津市スポーツ推進計画を策定するとともに、くさつランフェスティバルの開催に向け支援を行います。 (事業費) 第2期草津市スポーツ推進計画策定費 4,665千円 くさつランフェスティバル開催費補助金 2,000千円 【成果目標】 ・第2期草津市スポーツ推進計画の策定 ・くさつランフェスティバルの開催</p>	<p>⑪ 【取組実績】 近年の国、県の状況や滋賀県で開催される国スポ・障スポへの取組みを踏まえ、さらなるスポーツの推進を図るため第2期草津市スポーツ推進計画を策定しました。 また、健幸都市くさつランフェスティバルについては、新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年度に延期をしました。 (事業費) 第2期草津市スポーツ推進計画策定支援業務 2,200千円 健幸都市くさつランフェスティバル開催補助金 0千円 【成果目標実績】 ・第2期草津市スポーツ推進計画の策定 ・くさつランフェスティバル開催の延期</p>

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取組と成果目標	4. 課題解決に向けた令和2年度の具体的な取組 【年度末実績】
<p>11 <第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会の推進> 令和6年(2024年)に滋賀県で第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会が開催される予定であり、本市においても国民スポーツ大会正式競技であるバレーボール(成年男女)、バスケットボール(少年女子)、ソフトボール(少年男子)、軟式野球(成年男子)をはじめ、多くの競技開催が予定されているため、計画的かつ効率的な準備業務を進める必要があります。</p>	<p>11 第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会草津市準備委員会を設置し、関係機関・団体が連携して準備を進めることで、さらなるスポーツ健康づくりの推進や交流人口の増加による街の活性化につなげます。 また、第79回国民スポーツ大会の競技会場として内定しているソフトボール競技の実施に向けて、野村運動公園グラウンドのグラウンド防球ネット等の改修工事を行います。</p>	<p>【取組】 第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会草津市準備委員会を設置します。 (事業費) ⑫ 第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会準備費 638千円</p> <p>【成果目標】 第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会草津市準備委員会設立総会の開催</p> <p>【取組】 ⑬ 第79回国民スポーツ大会の競技会場として内定しているソフトボール競技の実施に向けて、グラウンド防球ネット等の改修工事を行います。 (事業費)野村運動公園グラウンド大規模改修費 263,065千円</p> <p>【成果目標】 野村運動公園グラウンド大規模改修工事の実施</p>	<p>重</p> <p>【取組実績】 ⑫ 新型コロナウイルス感染症の流行および大会自体が1年延期となったことを踏まえて、準備委員会の設立を令和3年度に延期しました。</p> <p>【成果目標実績】 ⑫ 新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点および大会自体が1年延期となったことを踏まえて、準備委員会設立総会の開催を令和3年度に延期しました。</p> <p>重</p> <p>【取組実績】 ⑬ 第79回国民スポーツ大会の競技会場として内定しているソフトボール競技の実施に向けて、グラウンド防球ネット等の改修工事を行いました。 (事業費)野村運動公園グラウンド大規模改修費 148,261千円</p> <p>【成果目標実績】 野村運動公園グラウンド大規模改修工事の実施</p>
<p>12 <市民が文化・芸術に触れる機会の推進> 国では、文化を観光やまちづくりなど各分野に活用しようと、平成29年6月に「文化芸術基本法」が施行され、平成30年3月6日に文化芸術に関する施策の総合的かつ計画的推進を図るため、「文化芸術推進基本計画」(第1期)が閣議決定されました。 本市においても、平成29年7月1日に基本理念等を定めた草津市文化振興条例を施行するとともに、平成30年3月に草津市文化振興計画を策定し、草津らしい文化の創造と発展を目指すための基本方向等を定めました。</p>	<p>12 文化振興計画に基づいて、誰もが等しく文化に触れられる市民文化政策の推進と、個性ある文化の創造により都市の魅力を高める都市文化政策の推進を図り、「出会い」と“交流”に満ちた草津市の文化を創造し、発展させます。</p>	<p>【取組】 ⑭ 草津市文化振興計画に基づく文化振興プログラムを実施し、草津市における文化振興を特徴づけ、草津らしい文化の創造を促進します。 (事業費)文化振興プログラム推進費 4,854千円 ・アートフェスタくさつ開催 ・草津市文化振興審議会開催 ・草津シネマ塾開催 ・重点プロジェクト展開(先進的文化芸術創造活用拠点形成事業を活用)</p> <p>【成果目標】 文化・芸術の振興が図れていると思う市民の割合 24.0% (令和元年度21.2%)</p>	<p>⑭ 【取組実績】 文化振興計画に基づき、文化施策を計画的かつ総合的に進めました。また、草津市文化振興審議会において、重点プロジェクトの研究・準備と市美術展覧会の検証を行い、意見書としてまとめたいただきました。 ・アートフェスタくさつ わくわく体験ひろば(コロナで中止) ・星降る映画館(10/17 参加者136名) ・草津市文化振興審議会(4回※1回は書面評決) ・草津シネマ塾(コロナで中止) ・文化芸術×共生社会プロジェクト(11/13 まちなかオンライン&ルーフトップコンサート:参加者565名、2/28 みんなともだちコンサート:参加者480名) ・ピワアートコレクション(7月～3月、月1回)、ピワアートフェス(10/3～11)</p> <p>【成果目標実績】 文化・芸術の振興が図れていると思う市民の割合 21.2%</p>
<p>13 <文化財の調査と保護の推進> 国の文化財保護の方針は、個別の文化財保護を目的としたものから、歴史資産の保存・活用に向けた取組へと移行しつつあります。その中で、本市の歴史文化が抱える課題について、市民と行政が互いに協力し、地域に埋もれた歴史資産の掘り起しや保存、活用のための仕組みや体制づくりを進める必要があります。 一方、少子高齢化などに起因する地域の人口構造の変化により、文化財の保存・継承が困難となる中、所有者や保存団体から、後継者の育成や支援の充実等を求められています。</p>	<p>13 ・文化財の適切な管理・継承・整備・活用を目指し、本市の歴史文化の特徴を表す国指定史跡の整備を進め、歴史文化を活用する多様な機会の創出を図ります。 ・文化財を市民と行政が協力しながら保存・継承するために、後継者の育成や活動支援の充実を図ります。</p>	<p>【取組】 ⑮ ・史跡芦浦観音寺跡整備基本計画に基づき、全体の整備計画図などの「基本設計」を作成します。 ・史跡草津宿本陣保存活用計画に基づき、史跡整備に向け、来館者の安全を確保するため、公開中の建物部分の耐震診断を実施します。 ・文化財保存活用地域計画に基づき、歴史文化の価値や魅力を広く市民等に伝えるため、文化財の保存・活用への基盤づくりに向けた啓発事業を実施します。 (事業費) ⑮ ・史跡芦浦観音寺跡整備基本設計の作成および史跡内発掘調査の実施 10,004千円 ・史跡草津宿本陣整備(建物耐震診断ほか) 8,843千円 ・文化財普及啓発 1,537千円</p> <p>【成果目標】 ・史跡芦浦観音寺跡整備基本設計の作成および史跡内発掘調査の実施 ・史跡草津宿本陣整備基本計画の策定に向けた耐震診断の実施 ・文化財の保存・活用啓発活動の件数 30件 (令和元年度32件)</p>	<p>⑮ 【取組実績】 史跡芦浦観音寺跡整備基本計画に基づき、全体の整備計画図である基本設計の作成に取り組みました。 ・史跡草津宿本陣保存活用計画に基づき、史跡整備に向け、来館者の安全を確保するため、公開中の建物部分の耐震診断を実施しました。 ・文化財保存活用地域計画に基づき、歴史文化の価値や魅力を広く市民等に伝える啓発事業を実施しました。 (事業費) ⑮ ・史跡芦浦観音寺跡整備基本設計の作成および史跡内発掘調査の実施 10,004千円 ・史跡草津宿本陣整備(建物耐震診断ほか) 5,337千円 ・文化財普及啓発 1,056千円</p> <p>【成果目標実績】 ・史跡芦浦観音寺跡整備基本設計の作成および史跡内発掘調査の実施 ・史跡草津宿本陣整備基本計画の策定に向けた耐震診断の実施 ・文化財の保存・活用啓発活動の件数 15件</p>
<p>14 <歴史資産を生かしたまちづくりの推進> 草津の歴史文化の特色である草津宿や街道文化に対する関心を高め、ひとりでも多くの人にふるさとである草津に愛着を持ってもらえる取組が必要です。 そうしたなかで、これまでの見学や参加型の事業展開に加え、SNSをはじめとするさまざまな情報発信ツールによる、草津宿や街道文化の魅力発信の必要性が求められています。</p>	<p>14 草津宿街道交流館や史跡草津宿本陣での展示や講座など施設内での取組とともに、両館のホームページやフェイスブック、啓発情報誌、メディアなどを積極的に活用し、草津宿本陣をはじめとする草津宿や街道文化の魅力発信に取組んでいきます。</p>	<p>【取組】 ⑯ 館のホームページやフェイスブックに、草津宿本陣や草津宿街道交流館の事業内容や、所蔵する歴史資料などの紹介を掲載するとともに、えふえむ草津の番組や関係団体などの情報誌へ草津宿の魅力紹介などを行います。</p> <p>【成果目標】 ⑯ 情報発信件数 年間200件以上 (令和元年度199件)</p> <p>【*令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定事業の中止等が見込まれるため、事業発信が大幅に減少すると見込まれます。これに代わり、草津宿の歴史や街道文化に纏わる話題などを積極的に発信し、令和元年度並みの発信に努めてまいります。】</p>	<p>⑯ 【取組実績】 令和2年度にツイッターでの情報発信を開始し、ホームページやフェイスブックと併せてインターネット上での情報発信を充実させました。さらに広報くさつや各種情報誌への記事掲載、えふえむ草津への出演等を通じ草津宿の魅力等を紹介しました。</p> <p>【成果目標実績】 情報発信件数 年間392件(令和元年度199件)</p>